

番号	7	名称	上智大学1号館
----	---	----	---------

指定日	平成15年6月9日	所在地	紀尾井町7番
設計者	マックス・ヒンデル建築事務所	竣工	昭和7年(1932)



歴史・文化的特徴

イエズス会（カトリック修道会のひとつ）が、明治45年（1912）に高嶋軻之助子爵邸やそれに隣接する邸宅を買い求めて設立した大学である。

当初の建物は、大正2年（1913）に完成したが、関東大震災により建物が崩壊したため、昭和7年（1932）に現建物を再建した。

大正から昭和初期にかけて、日本各地のカトリック教会を設計したスイス人マックス・ヒンデルの手によるドイツ風の学校建築で、残存例として貴重な建物である。

意匠・構造の特徴

校舎はボリュームがあり規模が大きい。

外壁は、1階が花崗岩のルスティカ積み、2階以上の壁面を赤色二丁掛けタイル貼りとし、RC造校舎としては個性的な色彩を持つ。

外観は全体的に各階の窓の上下にリブを付け、水平線を強調したシンプルな印象が強い。正面1階の窓はアーチとし、その周りのスパンドレルパネルや上部窓の横にゴシックの幾何学模様を持つ褐色のテラコッタを用いるなど、装飾性の強い部分も見られる。

千代田区西神田一丁目に、同じヒンデル設計のカトリック神田教会（1928年竣工、国登録有形文化財）がある。

周辺景観との関係

上智大学正門の真横に位置し、外濠の土手からの眺望にも優れている。

キャンパス内にあるクルトゥルハイム聖堂とともに、歴史的景観を形成している。